
天使の背中

朔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天使の背中

【Zコード】

N8025C

【作者名】

朔

【あらすじ】

三角関係の末、それぞれの想い。独白に想いを綴ります。アナタは誰の想いにひかれますか？

(前書き)

面白ですので、物語を期待して来た方は回れ右です
一.
II
II
（
・

信じても信じなくても裏切られるなら
私は信じたかった

でもね、

私にも限界があつたんだ

ずっとつかまえたかったキミの背中

遠ざかっていくのが分かつていて

きつとキミは去つて行く

キミヒアノヒトが惹かれ合うのが分かつていて

身を引いてあげられたらキミはそんなに苦しまなかつたかも知れな
いね

でも、

私はそんなにオトナじゃない

私はそんなにキレイじゃない

視ないフリしか出来なかつた

ゴメンね オメデトウ
は言えないや

私はワタシを抑えるので 立つてるので精一杯

自分の手を握り締めて胸の痛みを押し込める

イキガデキナイ
キミガイナイ

キミをうしなつたワタシは
羽がない天使のように
地面にただ
立ち尽くすだけ。

キミが想つてくれてるのは知つていた

キミが本当に大切で
キミに負けないくらい僕もキミを想つていたんだ
でも・アノヒトと出会つてしまつた
僕にはどおしよおもない程にアノヒトに惹かれた
キミを想う気持ちと異なる気持ちが芽生えた
僕はそれをとめる術を知らない
キミを傷つけてしまつのは分かつていたケド
僕の後ろを追い掛けるキミを知つていたけど振り向く事が出来なか
つた
キミをうしなつても欲しいモノがあるんだ

キミは本当にキレイだから
キミの笑顔が好きだつたから

振り返る勇気がなかつた

ゴメンなんて言わないゴメンなんて言えない

背中から伝わるキミの気持ち

僕はずっとキミを思うよ

こんなに僕を想ってくれたキミを

背中に元キミへのオモイを乗せて

貴方は私が憎いででしょうね

あの人に運命を感じてしまった
あの人も私を見つけてくれた

あの人に貴方がいるのは分かつていた

どんなに恨まれてもいい
どんな事を言われても構わない

それであの人と一緒になるなら
私は何だって耐えられる

貴方に悪いと思つたりしない

そんな事は貴方を惨めにさせるから

私はあの人についていく覚悟を決めたの
あの人となら地獄に墮ちたつてい

あの人が築く道を
あの人が翔ぶ空を

私が隣に立つて進む

あの人は優しいから貴方をきっと忘れない

私の手をとつてくれても貴方という存在があの人の中にある

私にもし羽があつたら

貴方を見つけられない場所へと翔んでしまえるのに

私にもし羽があつたら

私の羽であの人眼を塞いでしまえるのに

私にもし羽があつたら
天使にもなれたのかしら

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8025c/>

天使の背中

2010年10月23日13時25分発行